

平成22年度漁業後継者確保促進事業（水産少年教室）

本事業は、子供たちが漁業に触れ、学ぶことで、漁業や海への関心を深め、将来の漁業後継者を確保することを目的に実施しています。本年度は、漁港周辺地域の小学生高学年を対象に、いわき、相馬、双葉の3地区において、各々6月12日、7月23日、26日に実施しました。

各地区の漁業士や漁業者、漁業協同組合の協力のもと、参加者数は3地区合計で児童72名、保護者等24名で大変盛況でした。

いわき地区（6/12）

「漁業者の講話」



「磯探検」



「ホッキ剥き体験」



相馬地区（7/23）

「魚市場セリ見学」



「地びき網－1」



「地びき網－2」



請戸地区（7/26）

「魚市場セリ見学」



「栽培協会見学」



「乗船体験」



平成22年度東北・北海道ブロック合同漁業士研修会

平成22年度東北・北海道ブロック合同漁業士研修会が6月16、17日に、岩手県宮古市の「浄土ヶ浜パークホテル」で開催されました。本県からは、立谷漁業士会長が出席しました。

水産庁増殖推進部研究指導課の田中係長から「全国の漁業士・漁業士会の状況と最近の動き」、(有)三陸とれたて市場の八木代表取締役から「ITを利用した水産物の流通・販売」の講演がありました。

その後、各県の「漁業士活動の概要と取組事例」について、事例発表と活発な意見交換がなされました。



平成22年度第1回福島県漁業士情報交換会

平成22年度第1回目福島県漁業士情報交換会が6月25日に、相馬双葉漁業協同組合請戸支所会議室で開催されました。

平成21年度の活動実績、平成22年度の活動計画等について協議した後、今回から勉強会を開催し、県水産試験場島村主任研究員より「2010年漁期のコウナゴ予測の結果と検証」の報告がありました。



第52回福島県漁業協同組合女性部連絡協議会総会

第52回福島県女性連総会が7月27日に、水産会館で開催されました。

女性連久保木幸子会長挨拶の後、県信漁連南部会長、水産事務所尾形所長から来賓挨拶があり、議事に入りました。提出された活動計画等の議事は全て承認されました。

第49回福島県漁業協同組合青壮年部連絡協議会総会

第49回福島県漁青連総会が8月10日に、榎葉町コミュニティーセンターで開催されました。

漁青連志賀会長挨拶の後、県漁連新妻専務、水産事務所尾形所長から来賓挨拶があり、議事に入りました。提出された事業計画、役員改選等の全ての議案が承認されました。なお、新役員は以下の通り選出されました。

会 長	吉田康男（いわき市漁協久之浜支所）
副会長	渡辺一郎（いわき市漁協小浜支所）、佐藤雅宣（相双漁協相馬原釜支所）
監 事	鈴木義夫（いわき市漁協沼之内支所）、管野光広（相双漁協新地支所）
顧 問	志賀基明（相双漁協請戸支所）

「志賀会長挨拶」



「総会」



平成22年度福島県漁業士会総会及び漁業士認定証交付式

平成22年度福島県漁業士会総会が8月21日に、浪江町の「ウエディングプラザ如水」で開催されました。総会に先立ち、今年度新たに漁業士として認定された以下の2名に、水産事務所尾形所長が県知事からの認定証を交付しました。

櫻井一登 青年漁業士（相双漁協相馬原釜支所）

阿部健一 青年漁業士（相双漁協磯部支所）

総会では、立谷漁業士会長挨拶の後、県漁連新妻専務、水産事務所尾形所長から来賓挨拶がありました。叶谷青年漁業士（請戸）が司会、久保木青年漁業士（沼之内）が議長を務め、活動計画等の議事は全て承認されました。

また、今回の総会をもって退任される櫻井明夫青年漁業士（相馬原釜）に、県漁連新妻専務から感謝状が、立谷漁業士会長から記念品が贈呈されました。

「認定証交付式（左：櫻井一登青年漁業士、右：阿部健一青年漁業士）」



「感謝状贈呈（櫻井明夫青年漁業士）」



「総会」



新漁業士の紹介

- ・氏名：桜井 一登（青年漁業士）
- ・所属：相馬双葉漁協相馬原釜支所
- ・船名：昇起丸
- ・主な漁業種類：さし網、船びき網、沖合たこかご
- ・自己紹介：私は、10代から父や親戚と漁業に従事し、経験を積んできました。春はコウナゴ、メロウド、夏はツブ、タコ、秋はシラスと様々な漁を行っています。
- ・漁業についての抱負や考え
魚価が安く資源も減少しており、現在の漁業は厳しい状況ですが、状況に応じて漁業種類を替えながら、柔軟な漁家経営を目指しています。



- ・氏名：阿部 健一（青年漁業士）
- ・所属：相馬双葉漁協磯部支所
- ・船名：新栄丸
- ・主な漁業種類：さし網、船びき網、かご
- ・自己紹介：私は、父と二人で20年以上船に乗り、漁業に従事してきました。コウナゴ、シラス、カレイ類、タコ類などを漁期ごとに狙っています。
- ・漁業についての抱負や考え
今の漁業情勢は厳しく安定しているとはいえませんが、今後も資源管理や魚食普及などに積極的に取り組んでいきたいと思えます。



環境・生態系保全対策事業

環境・生態系保全対策事業の活動は2年目となりますが、相馬市の松川浦、いわき市の永崎地先で実施されております。相双漁協松川浦支所干潟保全協議会では、アサリを食害するサキグロタマツメタの卵塊駆除作業を10月から行っています。昨年に比べ産卵期が約2週間程遅れており、駆除作業の開始もやや遅くなりました。また、いわき藻場保全研究会では、海藻を食害するウニの除去作業に取り組んでおり、今年9月のモニタリング調査では、前年にウニを除去した区域において海藻の幼体が繁茂していることが確認されました。本年度も10月よりウニ除去作業を行っており、その効果の拡大が期待されています。

「松川浦：サキグロタマツメタ駆除」



「永崎地先：ウニ除去」



平成22年度水産事務所出前講座

平成22年度水産事務所出前講座は、7月15日のいわき市立久之浜第二小学校を皮切りに、11月12日の江名公民館で終了しました。内容は、ホッキむき教室、本県における栽培漁業等の水産学習が中心で、8回実施し参加者数は計287人でした。自分でむいたホッキを試食した参加者は、その美味しさに驚いており、次年度も魚食普及と本県水産業の理解を深めるため、活動を継続していきたいと思います。

「ホッキむき教室」



「水産学習」



「出前講座実績」

月日	場所	対象	人数	メニュー	
7月15日	久之浜第二小学校	5,6年生	10	ホッキむき	水産学習
7月28日	神谷公民館	一般	40	ホッキむき	水産学習
9月3日	久之浜第一小学校	5年生	48	ホッキむき	水産学習
9月16日	磐城農業高校	1年生	39	ホッキむき	—
9月29日	玉川中学校	2年生	20	ホッキむき	水産学習
10月1日	小名浜東小学校	5年生	85	ホッキむき	水産学習
10月14日	藤原公民館	一般	25	ホッキむき	—
11月12日	江名公民館	一般	20	ホッキむき	—
		合計	287		

カツオのまち活性化推進事業

本県産カツオの知名度向上と販売促進の戦略等を検討する「カツオのまち活性化推進協議会」が6月に設立され、7月4日と8月29日に、「いわきのカツオ祭り」が開催されました。1回目は小名浜魚市場、2回目は小名浜潮目交流館でしたが、来場者は各々4千名、11千名と多くの方々にカツオの美味しさを味わって頂くことができましたと思っています。また、7月には首都圏（新橋、川崎市）、8月には会津若松市においてもPR活動を行いました。本年は県が事務局となり活動を進めましたが、協議会他関係機関の皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。

「第2回カツオ祭り（8/29）」

